

2017年 8月 7日

お客様各位

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ

品質責任者 山岸 俊実

**SHD 簡易ユニットタイプのフレクスプライン分離防止ボルト変更に関するお知らせ**

拝啓 貴社ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

この度、弊社減速機簡易ユニットタイプ SHD-2SH のフレクスプライン分離防止ボルト長さを変更いたしますので、ご連絡申し上げます。

敬具

## 記

## 1. 変更理由

弊社減速機ユニット SHD-2SO,2SH と、SHG-2SO,2SH シリーズは、フレクスプライン（以下 F/S）とクロスローラベアリング（以下 CRB）の分離防止のために六角穴付きボルトで仮固定した状態でご提供しております。（図-1）

両シリーズの F/S と CRB の仮固定部寸法は同じですが、設計年次の違いにより型番 20 と型番 32 において両シリーズの分離防止ボルトの長さが異なります。

両製品の共通化を図るため、SHD-2SH のボルト長さを SHG-2SO,2SH シリーズに統一いたします。

現在、カタログ、納入仕様図などに記載されているこの分離防止ボルト長さ表記は、今後順次変更させていただきます。

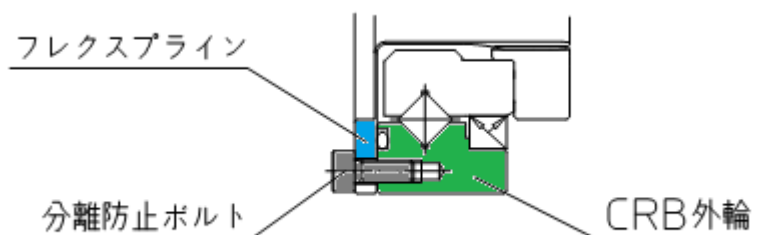


図-1 F/S-CRB 仮固定構造図

## 2. 変更内容

表に、現状の分離防止ボルトと変更後のサイズ、長さを示します。

対象型番は#20 と#32 になります。

参考として現状の SHG シリーズを対比記載します。

SHG シリーズに合わせて、SHD シリーズの分離防止ボルト長さを変更します。

機種名-型式		型番	#20	#32
SHD-2SO,2SH	変更前		M3×6	M4×10
	変更後		M3×8	M4×8
SHG-2SO,2SH	現状		M3×8	M4×8

3. 変更時期

2017年9月出荷品より変更します。

また、カタログ記載並びに納入仕様図に関しましては順次変更させていただきます。

4. 変更前後の製品型式について

変更に伴う製品名・型式の変更はありません。

変更前後のトレーサビリティに対しては、弊社で製品の機番を基に変更の記録を残します。

以上